

アドベンチャー・ツーリズム・アカデミー



9月
開講

Adventure Tourism Academy

世界的な自然志向やサステナブル意識の高まりにより、高付加価値な自然文化体験型観光としてのアドベンチャー・ツーリズム（以下AT）が注目されています。日本の各地域でATを推進させるには、自然環境や文化財といった地域の資源について、適切な保護と活用をするために、専門的な知識と法規制の理解が必須となります。ATの推進を図るためには、持続可能な地域づくりに貢献できるリーダー人材が必要であり、ガイドの技術向上だけでなく、地域コミュニティや行政との協働を促進するリーダーシップを育てることが求められています。このため、本アカデミーでは、持続可能な観光を実現させるために、地域の多様なステークホルダーと共に、価値ある体験を創出して地域の魅力を最大限に引き出すことのできる人材の育成を目指します。

アドベンチャー・ツーリズム・アカデミーの5つの特徴

- ① 各分野の専門家による講座：国内外で実績を持つ専門家からの直接指導
- ② いつでもアクセス可能なオンライン講座：場所を選ばず学べる柔軟な学習環境
- ③ 持続可能な観光地域づくりの学習：理論と実践を組み合わせたカリキュラム
- ④ 先進地域での実践的フィールドワーク：現場での体験を通じてスキルアップを実現
- ⑤ ATの全国ネットワーク展開形成：受講者同士の繋がりを深め、相互に長期的なキャリアを支援

開催概要

- 開催時期：【オンライン講座】約3か月を1クールとし、週1回、合計13回を目安として実施します。
【フィールド研修】オンライン講座終了後にアドベンチャー・ツーリズム先進地域にて3日間のフィールド研修を実施します。（別料金）※オンライン講座終了後、受講者の所在地域におけるアドベンチャー・ツーリズム推進に向けたロードマップを作成し、各専門家よりアドバイスをもらいます。ロードマップの提出後、修了証を発行します。
- 参加人数：1クール20名（フィールド研修は10名限定となります。）
- 参加費用：【オンライン講座】280,000円（税抜）（日本アドベンチャー・ツーリズム協議会会員 230,000円（税抜））※フィールド研修の参加料金については別途ご案内します。
- 参加方法：所定の申込用紙にご記入いただき、PDFファイルにて、下記宛にメール添付するか、FAXにて送信ください。又は、右端のQRコードからオンラインでお申し込み下さい。
- お申込・お問合せ先：アドベンチャー・ツーリズムアカデミー事務局
メールアドレス: academy@atjapan.org FAX: 03-6260-1210

講座名と講師略歴

講座名 世界に選ばれるデスティネーションの考え方と求められるATリーダー人材

山下 真輝氏 (一社)日本アドベンチャー・ツーリズム協議会理事
JTB総合研究所 主席研究員、内閣府地域活性化伝道師

全国各地の観光振興に関するプランニング・調査研究・旅行商品開発に従事。近年はスポーツ・ツーリズム、ATの調査研究を行う。2014年より内閣府地域活性化伝道師として全国の観光振興政策を支援している。



講座名 世界のAT先進地域と日本のAT地域としての可能性

芹澤 健一氏 (一社)日本アドベンチャー・ツーリズム協議会理事/
アルパインツアーサービス株式会社 代表取締役社長

ガイドの教育、トレッキング・ハイキングコースの総合プロデュースなどを行う。ニュージーランドのトレッキングの第一人者。アンデス・ロッキー、アラスカ、ネパール・ヒマラヤなどでは自然環境に配慮したロッジのプロデュース全般にも関わる。



講座名 地元住民主導の観光地域づくりと高付加価値体験のあり方

内山 裕紀子氏 くまの体験企画 代表

三重県尾鷲市出身。熊野古道伊勢路や地域文化の保全と活用につながるエコツアーを主催し、地域住民とともに歩む。自然体験コンテンツの造成支援アドバイザー、ガイド研修の講師などを務める。エコツーリズム大賞、ふるさとづくり大賞個人表彰を受賞。



講座名 外国人旅行者が求めるツアープランニングと地域資源活用

シャノン・ウォーカー氏 KODO合同会社 共同代表

ニュージーランド出身。2019年にKODO合同会社をマイケル・ジョン・ハリス氏と共同設立。インバウンド誘致コンサルティングなどを行う。ニュージーランド政府観光局で9年間に渡り、PR、マーケティング等の業務に従事。2020年よりATTAメンバーとして活動。



講座名 世界のツーリズム動向とAT市場への期待

亀山 秀一氏 JTB総合研究所 主席研究員

1988年運輸省（現国土交通省）入省。国土交通省観光庁国際交流推進課長、国連世界観光機関（UN Tourism）、JNTO理事長代理など、12年にわたり観光関係業務に従事。2021年国土交通省を退職後、2024年よりJTB総研主席研究員を務める。



講座名 持続可能な観光地域づくりに向けた官民連携のあり方とエコツーリズムの取組

木名瀬 奈佐枝氏 一般社団法人TESHI-COLOR 代表理事、
弟子屈町サステナビリティーコーディネーター

20年にわたって、北海道弟子屈町のアウトドア会社の経営に携わり、2020年に（一社）TESHI-COLORの代表理事に就任。2021年からは弟子屈町のサステナビリティコーディネーターとして、持続可能な観光地域づくりに取り組んでいる。



講座名 メディアとの共創:地域の魅力を最大化するコミュニケーション戦略

岡本 岳大氏 wondertrunk & co.代表取締役共同CEO、
デスティネーションプロデューサー

日本の地方を世界のデスティネーションにすることを目標に、ワンダートラック アンド カンパニーを設立し、デスティネーション・プロデュース事業を展開。観光庁「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」アドバイザーとしても活躍。



講座名 ATGSに基づく高品質ガイドの育成と地域ブランドの強化

横堀 勇氏 WMAJ共同代表理事 WMAIインストラクター
WEMT/アウトドアガイド

カナダで環境学を学び、ロッキー山脈で山岳技術や救急法をマスター。その後カナダでガイド資格を取得後、WMAインストラクターとして災害救急法の普及に尽力する。さらに医療資格も取得し、現在日本国内で外国人対象のガイドとして活動中。



講座名 外国人旅行者が求める高付加価値体験としてのAT

高田 健右氏 (一社)日本アドベンチャー・ツーリズム協議会
Global Marketing Director/ATTA Ambassador

メルボルンのHolmesglen Technical and Further Education Chadstone校で国際ビジネス学位を取得後、外国人客対応や、大小の会合、会議での英語を用いた司会プレゼンテーションなどを行う。2020年5月からATTAのAmbassadorに就任。



講座名 世界のサステナブルツーリズムの動向とこれからの受入地域のあり方

熊田 順一氏 JTB総合研究所 主席研究員
(一社)日本サステナブルツーリズムイニシアティブ (JSTI)
常務理事・事務局長

訪日インバウンド事業で実践経験を積み、2014年から国連世界観光機関において日本人初の職員として勤務。SDGsと観光の研究を開始、その後、JTB総合研究所において同研究を継続。内閣府においてSDGs達成に貢献する観光分科会を主宰。



講座名 ① 持続的な集客にむけた顧客マーケティング手法
② 地域における安全対策・危機管理による品質管理の考え方

マイケル・ジョン・ハリス氏 (一社)日本アドベンチャー・ツーリズム協議会理事/
株式会社 キャンオンス チーフフレッシングオフィサー

ニュージーランド出身。日本で最初にキャンオニングをツアーとして確立。スノーキャンオニングの立案者。長年の経験と多岐に亘る豊富なアウトドアスキルとカリスマ性で日本のAT業界を牽引。「世界をリフレッシュする」をミッションとして活動中。



講座名 事故事例から学ぶ危機管理

早川 修氏 早川総合法律事務所 弁護士

弁護士。さまざまな省庁で自然のなかでの活動における安全に関する役職を歴任。2003年のリバーラフティング転覆事故を契機に、リスクマネジメントの研修活動を展開。アウトドアの第一人者として、安全意識の向上に貢献。



※ 講座名は予定されたタイトルであり、変更となる場合があります。 ※ 講師は変更となる場合があります。



一般社団法人
日本アドベンチャー・ツーリズム協議会

ATA 開講のご案内



パンフレット



お申し込みフォーム

